

☆ 韓 国

業 績 Kolon・暁星など韓国勢、高機能繊維が貢献し増益

世界経済が低迷し中国企業との競合を強いられる中、韓国の繊維企業がタイヤコード、アラミド、スパンデックスなど高機能繊維分野の健闘を背景に増益を発表している。

韓国の Kolon Industries Inc.はこのほど、2015 年の業績を発表した。同社によると、2015 年第 4 四半期の売上は前年同期比 10%減の 1.24 兆ウォン(10 億ドル)、営業利益は 23%増の 723 億ウォン(5,910 万ドル)であった。2015 年通期の売上は 9%減の 4.86 兆ウォン(40 億ドル)、営業利益は 66%増の 2,805 億ウォン(2.27 億ドル)であった。タイヤコードおよびエアバッグの好調な売上が他事業の低迷を補った。

Kolon Industries は、米 DuPont との間で 6 年にわたり続いた知的財産権をめぐる訴訟問題が和解に至ったことから、アラミド部門の今後の成長が期待されている。耐熱・高強力が特徴のアラミド繊維市場は年平均成長率 7.8%で成長すると予測されている。同社のアラミド生産ラインはフル稼働し、米国市場における売上は急速に拡大しており、2016 年のアラミド部門の売上は 26%増の 1,200 億ウォン(9,725 万ドル)に達すると見込んでいるという。

このほか、韓国の大手合繊メーカーの暁星は 2015 年に過去最大となる 9,502 億ウォン(7.7 億ドル)の営業利益を達成したことを発表している。

☆ イ ン ド

経 営 Indorama と Dhunseri が PET 合併事業に合意

タイの Indorama Ventures Public(以下、IVL)とインドの Dhunseri Petrochem(以下、Dhunseri)は、折半出資の合併事業を設立し、インドの国内外向けにポリエステル(PET)樹脂の製造・販売を行うことで合意した。(一部既報)

DhunseriはIVLの100%子会社であるMicro Polypet(以下、MicroPet)の株式50%獲得し同事業を取得した上で分離して子会社を設立し、同子会社の株式50%をIVLが取得する。MicroPetのHaryana州Panipat工場は年産21万6000トンの生産能力を有し、DhunseriのWest Bengal

州 Haldia の 48 万トンの工場とあわせ、新子会社は年産 70 万トンの規模で PET の製造を行う。

一人当たりの PET の使用量を比較すると、中国が 2.6 ㌦、米国が 10.9 ㌦であるのに対し、インドは 0.6 ㌦にすぎない。インドは 10 億人以上の人口を有し、経済面で利点のある国・地域と有益な貿易協定を結べる国であるため、この最も強力な成長市場において、今回の合弁は両社にとってウィンウィンとなるとしている。また、インドの北部および東部で唯一の PET 樹脂メーカーとなり、大きな相乗利益が見込まれる。また、両社が合弁企業を設立し、統合することで、PTA や EG などの原料調達で外部調達能力を強化する。さらには、東インド最大の港である Haldia があることから、MicroPet は北インドで立地上の利点を得ることが期待される。